



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2007.4.4 (No.2451)
週報 No.35

第2560地区ガバナー／中條 耕二
会 長／渡 辺 勝 利
会長エレクト／荻根澤 隆雄(クラブ奉仕A)
副 会 長／中 村 和 彦(クラブ奉仕B)
幹 事／山 田 富 義
S A A／石 月 良 典
会 計／中 村 和 彦

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:65名中52名
■先々週出席率:89.06%

【ビジター】

・三條東RCより 鈴木守男さん

【先週のメイクアップ】

[3.29] 燕へ
・五十嵐晋三さん、渡邊喜彦さん



「率先しよう」

2006～2007年度国際ロータリーのテーマ



ミツマタ

会 長 挨拶

渡辺勝利 会長



東ロータリークラブ次年度会長の鈴木さん、今日は三條ロータリーによるおそいでございました。心から歓迎申し上げます。今日配られましたロータリーの友の4月号の表紙に、ピンク色の枝垂桜の写真がいっぱいに載っており春の訪れを告げておりますが、三條に桜が満開になる頃が私たちの50周年の式典の日なのかと思うと日のたつのが早いと改めて感じます。

先日、新三條地区の9クラブの合同会長幹事会議が我がクラブの主催のもと、山田幹事のお世話で開催されました。大変に和やかに行われ、中締めが終わった後も30分以上もコンパニオンなしでも皆さんがお帰りになりませんでした。ほとんどのクラブの会長幹事さんは自分の年度はもう終わったようなほっとした顔で、一方次年度の会長幹事さんは皆さん緊張感を漂わせておられたのが印象的でした。私たちのクラブは4月14日が済むまでは、それどころではございません。式典懇親担当の副委員長の杉山さんが松葉杖でご出席ですが、商工会議所の専務理事の後藤会員も先週の月曜日から体調を崩し現在も入院中で、ご夫婦ともども式典には出られないとのこと。お互いに大事な日を目前にしています。健康には注意してゆきたいものです。

今日は第一例会で色々なスケジュールが組まれておりますので、私のご挨拶はこの辺で終わらせていただきます。

幹事報告

山田富義 幹事

◎三条ローターアクトクラブより

「春のクリーン作戦 in トリムの森」のご案内がとどいております。

と き 4月30日(月) AM 7:00 集合
小雨決行

ところ トリムの森(三条市民球場)
準備するもの 軍手

◎次々週の例会日は(4月18日)50周年振替で休会となります。

◎4月13日(金) PM 1:30～

VIPで50周年式典のリハーサルを行いますので、会員の皆様は全員ご出席下さい。

ニコニコBOX

三条東RC 鈴木守男さん

50周年おめでとうございます。益々のご発展をお祈り申し上げます。

渡辺勝利さん

渡邊喜彦会員には、今日の卓話ありがとうございます。

50周年式典も目前に迫りました。気を引きしめてよろしく。

山田富義さん

50周年式典まで、後10日です。宜しく申し上げます。

50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

渡邊喜彦会員、卓話ありがとうございます。

石橋育於さん

50周年記念式典まで、あと10日となりました。これまでの皆様のご協力に感謝申し上げます。

松谷晃吉さん

いよいよ10日後になりました。

野水文治さん

入会50年になりました。

荻根澤隆雄さん

渡邊喜彦様、卓話ご苦労様です。

杉山会員、お悔やみ申し上げます。

平原信行さん

いよいよ迎える50周年に協力いたします。

会田二郎さん

渡邊会員の卓話に感謝して。

50周年、とっても楽しみです。実行委員の皆さん、大変ご苦労様です。

加藤紋次郎さん

4月1日～4月10日、新入学児童を守る交通安全週間中です。シートベルトをしっかりとめて安全運転をしましょう。

菊池 渉さん

あんなに春を待っていたのに、4月になれば、もう3ヶ月空しく過ごしたと後悔しています。

渡邊喜彦さん

お久しぶりです。今日は、久しぶりにつたない卓話をやらせていただきます。よろしくお祈りします。

高森章仁さん

昨夜は色々あって、午前様でした。

藤田説置さん

渡邊喜彦会員のスピーチを歓迎して。

中村和彦さん

渡邊さんの卓話、楽しみにしています。

子供が就職しました。

小越憲泰さん

久しぶりの渡邊会員の卓話、楽しみです。

広岡豊作さん

渡邊さん、卓話ご苦労様です。

明田川賢一さん

春らしい陽気に。渡邊喜彦会員のスピーチに。

齋藤弘文さん、若槻八十彦さん、五十嵐寿一さん、藤田紘一さん、熊倉昌平さん、杉山幸英さん、丸山行彦さん、齋藤真澄さん

渡邊会員、卓話ご苦労様です。楽しみにしております。

松永一義さん、石塚欣司さん、佐藤 武さん、

五十嵐昭一さん、樺山 仁さん、日戸平太さん、

金子俊郎さん、小出子恵出さん

渡邊会員の卓話、楽しみにしています。

50周年を成功させるために、スマイルBOXに協力します。

外山雅也さん

都合により、早退させて頂きます。

船越正夫さん

所用で早退させていただきます。

4月4日分 ￥ 86,000

今年度累計 ￥1,889,000

財 団 BOX

五十嵐力さん

孫が高校に入学する事になりました。(三条高校へ)

4月4日分 ￥ 5,000

今年度累計 ￥ 15,000

卓 話

「生活のすじみち……倫理」

渡邊喜彦 会員



みなさん今日は、久しぶりの出席です。

今日は、会田委員長から久しぶりに卓話の講師を依頼されました。

事前にテーマも決めず、今日は原稿の用意もございません。しかし、今日の卓話は、私が普段勉強しています倫理のお話をしたいと思います。

さて、ここに今日は2冊の本と1枚の新聞の切り抜きをコピーし持ってまいりました。新聞の切り抜きは、私が2003年3月5日(日)の朝刊を当日東京のホテルで読んだものです。この記事を読んで私は感動しました。

それは、ここで取り上げられている主人公「愛知県豊橋市の私立豊橋高校の数学の先生……宮本延春」さんです。

彼は、小学校、中学校と成績が悪く、中学校1年生の時の成績がオール1だったそうです。

その後20歳になって、職場を変え出会った方との縁が彼を変えました。

その女性は、奥様の純子さんでした。純子さんは、あるとき1本のビデオを彼に持ってきてくれました。それは、アインシュタインの「光は波か、粒か」というテープでした。それを視た彼は、もっと勉強したいと興味をそそられやがて、改めて高校へ行こうと決心し、現在勤務している豊橋高校の夜間に通うのです。そして、一所懸命勉強に取り組みます。やがて彼は自分の不得意を克服し、みごと名古屋大学工学部に合格するのです。24歳で高校へ進学し、27歳で大学へ、そして、同大学院を無事卒業したのが36歳で、卒業するまでの9年間を大学で宇宙物理学を学びました。在学中に結婚し、長男も生まれました。はじめは研究者になろうと志しましたが、満ち足りた日々の中で別の思いが芽生えてきました。「自分の経験が一番役立つのは教師ではないか。おちこぼれだったから、生徒がどこでつまずくかが分かるし、いじめられた時の悔しさもよく分かる」と。

早速母校に電話し、教壇に立ちたいと願いでるのです。今、彼は週14時間の授業を担当しています。私は、この記事を見て「人は無限の可能性を有し、心の持ち方により人のすばらしさを幾らでも生かせるのだ」と、感じました。

皆様ご存知のように私は、倫理というものを勉強しています。前述の宮本さんの人としての能力は無限であり、明るく希望を持って何事も取り組めばすばらしい歓喜の世界が手にできると倫理では教えています。そして、その要諦を17ヶ条で分かりやすく説いた本が「万人幸福の葉」ここにもって参りました本です。

私は、昭和57年1月より倫理を学んでいます。そして三条に倫理の火を灯し、今日まで多くの方々にお勧めしてまいりました。

今、倫理を学ぶ企業経営者で組織する法人会は、本年度全国で5万社を達成しようとしています。

皆様も是非この倫理を企業に、また家庭に取り入れられ幸せな家庭を、企業をおつくりいただきたいと思っています。

三条市倫理法人会は、我々の会員で居られる金子俊郎さんのお父さん六郎さんに初代会長をお願いし、今日に至っております。

以下、葉の内容を簡単に説明し終わりたいと思います。

「万人幸福の葉」17ヶ条

第一条

日々好日……………「今日是最良の一日、
今は無二の好機」

第二条

苦難福門……………「苦難は幸福の門」

第三条

運命自招……………「運命は自ら招き、
境遇は自ら造る」

第四条

万象我師……………「人は鏡、万象はわが師」

第五条

夫婦対鏡……………「夫婦は一对の反射鏡」

第六条

子女名優……………「子は親の心を実演する
名優である」

第七条

疾病信号……………「肉体は精神の象徴、
病気は生活の赤信号」

第八条

明朗愛和……………「明朗は健康の父、
愛和は幸福の母」

第九条

破約失福……………「約束を違えれば、
己の幸いを捨て
他人の福を奪う」

第十条

勤労歓喜……………「働きは最上の喜び」

第十一条

万物生々……………「物はこれを
生かす人に集まる」

第十二条

捨我得全……………「得るは捨つるにあり」

第十三条

反始慎終……………「本を忘れず、末を乱さず」

第十四条

心即太陽……………「希望は心の太陽である」

第十五条

信成万事……………「信ずれば成り、
憂えれば崩れる」

第十六条

尊己及人……………「己を尊び人に及ぼす」

第十七条

人生神劇……………「人生は神の演劇、
その主役は己自身である」

以上の17ヶ条です。細かい説明は時間の都合上できませんが、今日という日は我々にとって二度と無い日であり、時間です。チャンスは今しかないのです。また苦難というものは、人がみな嫌っていますが、実は自分を強くしてくれる、また間違いを反省させてよりすばらしい人間になるよう天の与えた激励です。そして自分の運命は、生まれたときから決まっているなどという人がいますが、それは間違いです。自分の運命は自分でつくりあげて行くもので、すばらしい運命を招くのも不幸の人生を招くのもすべて自分次第です。我々を取り巻く大自然、森羅万象はすべて我が師であり、万象は心理の顕現です。芸術の開花です。我が心を空にしてこれに対するとき、興味津々、地上は喜びの楽土と変わってきます。人は男性と女性と二様になっています。我々の生かされているこの世の中はすべて、陽と陰つまり+と-のように正反対のもので成り立っています。それが合一したときすばらしいものが生まれてきます。夫婦の心の一致しているか、いないかにすべての幸福が決まります。家庭でも会社でも。

次に子供が手におえぬ、悪くて困るといふとき、その原因のことごとくは両親にあります。親の生活を変えればすべてが直るのです。肉体は心と密接につながっています。心にひがみゆがみができると、体は病気におかされます。病気の元である心の不自然さを取り去れば、肉体は自然に治ってしまうものです。明朗は、健康のもとであり、まわりを幸せにするすばらしいものです。すばらしい家庭を作るのも、社会を作るのも愛です。愛は大和のすがたです。親子夫婦のたてよこの十字の愛和は、家庭幸福のもとです。きめごとといふのは、大は天体の運行から、四季昼夜のめぐりなど。これを破るのは人間だけです。これが不幸を招きます。とりわけて、厳しい破約に対する天の刑罰は、親子夫婦の血縁の間のきめごとです。勤労は、最高の幸せです。つまり健康で元気で働けるほど幸せなことはありません。働くといふことは、端を楽にすることでもあります。つまり周りの人たちを幸せにすることにつながるのです。働く人は健康です。真心で働いたとき無上の報酬が与えられます。それは「喜び」という報酬です。天職の自覚です。物はみな生きています。大切に扱えばその人のために喜んで働き、粗末に扱えば食ってかかります。特に金銭は敏感です。大切に扱い、私有せず留めず、どしどし使うときは思い切って使う。物は人と同じように生きています。人が徳の高い人に集まるように、物も本当に生かしてくれる人のところに集まるものです。大富豪は無欲の人です。無欲至誠の人でなければ行けない境地です。「気付いたとき直

ぐする」ことが物事をなし遂げる秘訣です。しかし、やってもやってもどうにもならないことがあります。その時は、度胸の見せ所です。きれいさっぱりと一切を投げ打って捨ててしまうのです。我々にはとかく、恐れ、憂い、怒り、急ぎ等、私情雑念が多く取り巻いています。何か問題があると、自分の都合とか、見栄とか立場とかというくだらないものに惑わされがちです。それらに捉えられていますと、なすべきタイミングを失い、チャンスを逃してしまいがちです。そういうときは、すべてを捨ててかかれれば、奇跡が起こるのです。

次は、われわれは、事業でもつい順調になると、創業の時の苦しさや初めて社会に出て多くの方々にお世話になったことを忘れがちです。失敗したりするのは、すべてその元を忘れてしまう事によることが多いのです。そして成功しても、シッカリと後始末をし、終わりをしっかりとくり付けることが次の成功へとつながる事です。希望は心の太陽です。どんなに苦しいことがあっても、決して希望を捨ててはいけません。希望は、常に若々しい。希望は、永遠の光です。信ずることは、大切です。人の交わりのもとには「信ずる」にあります。誓いといふのは、人が人と、また人以外のものと結びあって信念を確立することです。事業もすべて強い信念を持って取り組むことが大切です。信は成し、信は満たします。反対に憂いは、崩すことにつながります。つねに喜び、信念をもって取り組んで行きましょう。己自身は二つと無いすばらしい存在であります。だから自分の頂いた体、個性をできるだけ伸ばし、世のため人のために働かすことが大切です。そして己を尊ぶ極みは、捧げるにあります。ここに己を尊ぶと人を尊ぶとの一如の絶対境が現れます。一切が己と成り、天地が己となる。自他一如、捨我の絶対境です。小さい己は消えうせて天地とともに生きる絶対境となるのです。

終わりに我々の人生は、大宇宙の統一の中に生かされている。大宇宙の生命、統一の中心、これを神あるいは仏といふ。天の与えた舞台に我々は演じている俳優である。そして、その主役は自分自身であります。だから、この舞台に生まれ、役者として演劇を演ずるならば、すばらしい劇を演ずるように努力して行かねばならない。倫理は、この演劇のルールや作法であり、その作法やルールをしっかりつかんで決められた演劇の時間を精一杯演じていきましょう、ということです。

以上、解説をさせていただきました。皆様とともにすばらしい家庭も企業を作れるよう是非、倫理を取り入れ学んでいただきたいと思ひます。

〈PETS報告〉

会長エレクト 荻根澤隆雄会員

過日の3月17日(土)新潟市のホテルオークラ新潟にて開催されました、次年度会長・幹事研修セミナーへ参加してきました。

研修セミナー開会に先立って点鐘・国歌につづいてロータリーソング斉唱の後に、周りのロータリアン同士の握手より始まりました。

緊張感を和らげる気遣いなのか、一時ではあるが和やかなムードが漂う中で中條ガバナーの挨拶で本番に入りました。

神成地区研修リーダーよりセミナーの意義・心得などの挨拶をされました。

ガバナーエレクト即ち次年度のガバナーであります渡辺敏彦氏は、新潟南ロータリークラブの方であります。

1947年2月のお生まれで還暦をお迎えになられたばかりであります。大変にエネルギッシュな方と感じました。1月にアメリカのサンディゴで開催されました国際協議会にご出席をなされ、その模様をプロジェクトで紹介しながら協議会の様子を説明なされました。

スクリーン上の協議会場入り口には「入りて学び、出でて奉仕せよ」とメッセージが示されてありました。

まずはRI会長の紹介とRIテーマ(方針)のお話をされました。2008～2009年度のRI会長はカナダの方で、お名前がウィルフリッドJ.ウィルキンソンであります。

RI会長の紹介を致しますと、渡辺ガバナーの仕事に奪う事になりますので省略を致しますが、ロータリーの友3月号に紹介されておりますので、そちらをご覧くださいと存じます。

そしてRIのテーマは「ROTARY SHARES」ロータリーは分かちあいの心とされました。これもロータリーの友3月号に掲載されております。これについては後でお話をさせていただきます。

RI会長は強調事項として①識字率の向上、②水保全、③保健と飢餓救済、④ロータリー家族の4項目を提唱されました。そして地区の渡辺ガバナーは地区の運営方針を「ロータリーを楽しく、地区(新潟)を元気に」と提唱され「楽しく、元気を」と強調されました。

楽しくとは各例会で、公式訪問の時、隣同士で握手をしてもらう事とか、ファイヤーサイドミーティングの活発化、各クラブの組織の簡素化、地区大会等の行事を賑やかにする事、そして元気にでは各クラブのニーズ、要望を地区に、元気プロジェクトを各クラブに作ってもらう、国内海外姉妹クラブの奨励などを挙げられ、地区の重点目標として①会員増強、②R財団の寄付、③米山奨学の寄付を強調されました。

そして渡辺ガバナーは財団、米山寄付の日本一を目指すと言われました。2560地区は過去において9

位が最高位だったそうです。

そして、ロータリー財団の神成大委員長は1人150ドルを目標とし「財団への寄付は義務ではなく特権である」と締められました。

さて、次に会長研修であります、研修リーダーには新潟南RCの風間士郎氏がなられ教えを受けました。

仕事以外に自由な時間を持つ、ロータリーの時間をリフレッシュな時間とする、自分なりのカラーでリーダーシップを取りなさい、ガバナー方針に沿って企画・実行の準備をなさい、会長挨拶を楽しみなさいと話されましたが、風間リーダーはこの様なことも言われました。「所詮、ロータリーは遊びである」と……。

少々ショックを受けましたが、良い方に取ればさしずめ「遊学をせよ」という事でしょう……。

そして7クラブくらいだったと思いますが、活動事例発表がありました。

次は分区ごとのグループ協議となりました。当第4分区のAGは分水クラブの藤井三明氏であります。

氏は自身の意識改革をしたい、ロータリーに未来と希望があるなら原点に立ちたい、地区内に「風」、新たな「活力」、奉仕提案を行って皆で楽しみたいと挨拶をされました。

基調講演では新発田ロータリークラブの山本善政氏が講師で、私にとっての「四つのテスト」を演題としてお話をなされました。

氏は1972年(24歳)に(株)サウンド北越を創業し、1993年にハードオフシステムを構築し、2000年にはジャスタックに上場、2004年には東証2部、2005年には店舗数を500店突破、東証1部上場を果たした手腕を発揮された社長さんであります、その道程は険しく大変だった事をお話されました。

サウンド北越が立ち行かなくなった時の資金繰りの様相などの話をされましたが、特に一番厳しい時期にクラブ幹事を受けていたそうです。その時にロータリーの四つのテストを暗唱追求し、自分なりの考えとして経営理念(四つのテスト)を構築され新たな一歩を踏み出されたのです。それがハードオフの源だそうです。

その経営理念とは

1. 社会のためになるか
2. お客様のためになるか
3. 社員のためになるか
4. 会社のためになるか

そして優先順位を1—2—3—4として、自身の行動が4条件を満たしているかどうか検証をしているそうです。それは循環型社会のモデルにふさわしい会社と感じました。氏は講演の一番最初に、会場の皆様の中で血液がAB型の方がいましたら挙手願いますと言われたので、思わず私は手を上げました。それがどうなるかも分からずに……。

その答えは最後に出ました。氏は企業倒産の大半

の社長の血液型がAB型であり私もAB型でありますとね……。

山本氏はハードオフを立ち上げ、一部上場までに企業を発展されました。経営の原点にロータリーの四つのテストがあり、更に自分なりの四つのテストに基づき実践をされた証が現在の形であるのではと考えさせられました。大変に勇気を頂いた講演でありました。

さてRIのテーマについて考えてみます。

「ロータリーは分かちあいの心」ですが、当年の「率先しよう」、前年の「超我の奉仕」と意味を比べたら、日本的で且つ大変に分かり易いと思いましたが、英文ではROTARY SHARESとなっております。恐らく直訳したら分からないものになってしまうでしょう。その「分かちあいの心」ですが、様々な分かちあいがあると思います。そして、それは全ての奉仕の実践において生ずるものであり、私は奉仕の原点でもあると理解を致しております。

PETSに参加して、さらに会長としての重責を感じておりますが、皆様のご指導ご協力を得ながら務めを果たしたいと思っておりますので、杉山幹事とも合わせて一年間宜しくお願いを申し上げます。

次週例会 4月18日 休会 (50周年振替)

次々週例会 4月25日 卓話 小越憲泰 会員

